

南信州 春の旅路

4/14/2012

北村社会福祉士事務所

代表 北村弘之

例年になく寒い冬が続いた今年。四月になり遅い春が陽ざしとともにやってきて、関東地方では一週間遅れで「桜の開花宣言」。本当に自然全体に季節の暦があるのではないかと思うくらいです。

今回は、南信州と伊那谷に一本桜と山盛りの桜を求めて一路中央高速道路に行ってみました。途中で神奈川県の水瓶である城山湖で、見事な桜並木と菜の花畑を楽しんでから春の風情を楽しみながら、高速道路に乗りました。2日とも快晴で、若い時に登った甲斐駒ヶ岳や仙丈が岳(南アルプス)、また八ヶ岳、そしてなんと言っても富士山と、各山の雪稜線が青空に映え、まるで歓迎してくれているかのようでした。そしてさらに高速道路で南信州に向かうと、木曾駒ヶ岳の山並みが見え、最高のドライブ日和でした。

南信州 高森町

妻の先輩である人を訪ねて、「市田柿」で有名な高森町に行きました。横浜から転住されたので10数年ぶりの再開でした。大変お元気で、その日の午後は我々のガイド役を務めていただきました。高森町の歴史民俗資料館では、知り合いの地元の方々が出てきて代わる代わる挨拶。もうすっかり地元の名士になっておられました。日本最古の貨幣「富本銭」が出土したことで有名な土地柄ですが、もともと教育に力を入れており、優秀な人材を輩出している土地のようです。また、この地はJR東海が発表した「リニア中央新幹線」の長野県での唯一の駅が設置されることになるということです。あと15年後にはのどかな田園地帯が一変しているだろうことも気にかかることです。

さて、桜見物には地元の人ならではの地に連れて行っていただきました。高森南小学校です。校庭の周りには見事な大木が何十本と並び学舎を守っている感じでした。このような環境は、昔はどこでもあったものですが最近は少なくなりました。残念ながら、つぼみ状態でしたが、地元の小学校の校庭に自由に入れたのもよいものでした。

その後、獅子舞が有名な「瑠璃寺」に行きました。この寺の獅子舞は、何と長野冬季オリンピックの閉会式で舞われた伝統的なもののようです。また、ここのしだれ桜は、十数本あり満開時には見事なもののようにも感じます。もうひとつは、「ピンピンコロリ」の発祥の地です。このピンピンコロリは、健康で長生きして死ぬときはあっさりという願いを込めたもので、ここで普及活動したということでした。

南信州 飯田市

訪問したところの一つに、「川本喜八郎 人形美術館」がありました。この人形美術館は、以前NHKの番組で有名になった人形アニメーション劇「三国志」や「平家物語」などの本物の人形を展示してあります。川本氏は東京千駄ヶ谷で生まれ創作活動をしておりましたが、飯田市で開催されていた人形カーニバルに合わせて、訪問したことがきっかけとなって、それらの人形を寄進したものです。懇切丁寧な学芸員の方の話聞き、人形自身をいかに軽量化しているか、また目や口元をいかに操っていたかよく理解できました。20~30年前ものとは思えない衣装や顔つきにも驚かされ

ました。

桜の名勝では、飯田地方は「一本桜」が有名で、そのひとつ座光寺の麻績(おみ)の里舞台桜は、歴史ある小学校と併設した場所にあり、その学校は長野県最古の学校で、明治時代には歌舞伎、近年は演劇などが開かれているようです。旧学校を舞台としてと、その前のしだれ桜で「麻績の里舞台桜」と呼ぶようです。また、ここの桜の花弁は、5~10枚のもので全国的にも珍しいものようです。また、市内の大宮桜通りがあり全長400mにわたり並木道に桜が咲いていました。

伊那市・駒ヶ根市

伊那市では、「かんでんはぱ」で有名な伊那食品工業の地を久しぶりに訪ねました。ここの会長は、「会社は社員のためにある」ということをモットーとして企業経営を実践されており、社員やその家族、また地域の人から絶大な信頼を受けております。私は20年近く前に、この人のことを書いてあった本を読み、一度は訪れたいと思い、今回は2回目の訪問になりました。寒天商品の購入はもちろんでしたが、新たに「野村陽子植物細密画館」という美術館を開設されていました。植物画の見事な筆先に感心してきました。ここでは、ゆっくり2時間ほどの時間をかけて訪問したいものです。

また、伊那市では高遠城址の桜が全国的に有名です。今回はつぼみでしたが、全国各地から観光バスできておりました。この城址公園は、山全体が桜の木で覆われており、全山が桜色一色になるスケールの大きさが観光客を呼んでいるのではないのでしょうか。現地の観光案内所のボランティアの方々に説明していただき、城址公園を回りました。織田の軍勢が攻めてきた時3千の兵が死んだこと、そのあと大名が幾たびか変わったという話など大変興味深いものでした。今度行くときには、満開の全山を観たいものです。

また、伊那の南にある、駒ヶ根市にはしだれ桜の「光前寺」があります。境内は、「光苔」と「しだれ桜」で有名ですが、もう1000年近く続く天台宗のお寺でした。参道の長さ、樹齢数百年の杉の大木に歴史を感じました。

以上



写真は、野村陽子植物細密画です。HPより



写真は、中央高速道路「双葉SA」内から撮った富士山と桜並木です。4/12撮影